授業科目	子ども家庭支援の心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	菅原　航平						
授業概要	子どもの発達や子どもに影響を与える家庭環境を理解し、子どもや子どもを取り巻く人々の発達や健康を支援する方法を学ぶ。						
授業形態	講義			授業方法	GoogleClassroom を活用し資料配布や課題提出等を行う。 一部 Youtube 等を活用したオンデマンド授業を実施する。なお、実施回や内容は実習期間や悪天候による休講等の調整ため変更の可能性がある。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	生涯発達について理解したうえで、初期発達の重要性や発達課題等を説明できる 家族・家庭の意義や機能を理解したうえで、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について具体的に例示することができる 子どもの精神保健とその課題について具体的に例示することができる
理想的レベル	生涯発達について理解したうえで、初期発達や発達課題等に配慮した支援方法を例示できる （生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。） 家族・家庭の意義や機能を理解したうえで、子どもとその家庭を包括的に捉えた支援方法を例示することができる （家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。） 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題を踏まえた支援について例示することができる （子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。） 子どもの精神保健とその課題を踏まえた支援について例示することができる （子どもの精神保健とその課題について理解する。）

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト	35%	授業内容に関する多肢選択や記述テスト
レポート	30%	中間・期末レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30%	予習課題、授業内の課題、毎回の感想・質問等
その他	05%	授業態度等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	CH21206J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業外での課題への取り組みや授業内容の復習・資料整理など	4

授業計画

第 1 回	子ども家庭支援の心理学で学ぶこと、学び方（オリエンテーション）
第 2 回	乳幼児期における発達
第 3 回	学童期における発達（オンデマンド）
第 4 回	青年期における発達
第 5 回	成人期・中年期・高齢期における発達（オンデマンド）
第 6 回	家族・家庭の意義と機能
第 7 回	親子関係・家族関係の理解
第 8 回	子育ての経験と親としての育ち
第 9 回	子育てを取り巻く社会的状況やライフコースと仕事・子育て（オンデマンド）
第 10 回	多様な子育て家庭
第 11 回	特別な配慮を要する子育て家庭
第 12 回	子どもの生活・生育環境とその影響
第 13 回	子どもの心の健康に関わる問題（1）：子どものストレス（オンデマンド）
第 14 回	子どもの心の健康に関わる問題（2）：子どもの精神障害
第 15 回	確認テストと解説、まとめ
テキスト	本郷一夫・神谷哲司（編）（2019）子ども家庭支援の心理学　建帛社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	LMS に資料をアップロードまたは、プリントを授業の時に配布します。 また、必要に応じて授業内で紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	学習相談：授業終了後及びメール等で適宜 学習成果のフィードバック：課題などは授業内で返却し（LMS での課題や最終回の課題等を除く）、成果や課題について授業内で取り上げてコメントします。
学生へのメッセージ・コメント	「保育の心理学」で子どもの心身の発達について理解しておくことが望ましい。